

社会福祉学研究科 心理臨床専攻 修士課程

心理臨床専攻 修士課程は、医療・福祉・教育・産業・司法領域において、社会福祉を理解した心理臨床の専門職を育成することを目的としています。

心理臨床の援助理論と実践教育・研究指導および社会福祉学に関する教育を通じて、幅広い視点から問題解決に取り組むことができる心理臨床の実践力を身につけることを目標としています。

1. 研究科の概要

課程名称：社会福祉学研究科 心理臨床専攻 修士課程

授与学位：修士（心理臨床） Master of Clinical Psychology

開講形態：夜間開講

定員：10名

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理臨床専攻 修士課程は、次に該当する者に修士（心理臨床）の学位を授与します。

知識・理解

- ・臨床心理とその近接領域における十分な専門知識を備えている。
- ・今日問題となっている心理臨床上の諸問題について、その概要を理解し、心理ならびに近接領域の専門家と議論をおこなうことができる。

思考・判断

- ・心理学的な諸問題について、適切な問題意識のもとに研究を計画することができる。
- ・研究遂行のための知識、ならびに理解力を備えており、先行文献を探索し読解することができる。
- ・自らの研究成果を整理し、適切に開示することができる。

臨床技能

- ・心理臨床の基礎となる対人関係能力をふまえ、適切な態度で臨床場面にのぞむことができる。
- ・クライアントの抱える心理的問題を見立て、心理療法的に接近することができる。

態度

- ・臨床ならびに研究の遂行において必要となる倫理的諸問題について理解している。

2. 研究科の特徴

1) 夜間制大学院

本専攻の主な科目（学外実習を除く）は、平日の夜間〔6限（18：25～19：55）、7限（20：05～21：34）〕や土日（集中講義など）に開講されているため、働きながら学ぶことが可能です。

大学で心理学を学びさらに臨床心理学を深く学びたいと考えている学生と社会人が一緒に学んでいます。

2) 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院

公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院であるため、本専攻を修了することで臨床心理士資格試験受験資格を得ることができます。

3) 公認心理師対応カリキュラムの開講（平成30年4月より）

平成30年度より公認心理師対応カリキュラム（「大学院における必要な科目」）を開講しています。

4) 心理臨床に関連する福祉系科目を学ぶ

社会福祉関係選択必修科目である「ソーシャルワーク論」「精神保健福祉論」「福祉サービスマネジメント概論」など心理臨床に関連する福祉系科目を学ぶことができます。

3. カリキュラム

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

心理臨床専攻修士課程では、医療・福祉・教育・産業・司法領域において、社会福祉を理解した心理臨床の専門職を育成することを目的として、以下のとおり、講義系科目、実習科目、研究指導科目の3つの科目群で教育課程を編成し、実施します。

講義系科目

心理臨床に関する基礎や研究を進める上での基礎を学び、心理臨床活動に必要な基礎的知識の修得を目指します。

実習科目




学内の附置研究所および学外の保健医療施設、社会福祉施設、教育施設等での実習を通じて、心理臨床活動の実際的な知識と技術の修得を目指します。

研究指導科目

修士論文執筆を通して、臨床心理学に関する研究遂行能力の養成と複雑な事象を深く理解し、その知見を他者に伝える能力を高めることを目指します。

4. 修士学位取得までの流れ

心理臨床専攻の修士学位取得までの流れを紹介します。1年次、2年次の年間スケジュールは以下のとおりです。

年次	時期	修士論文スケジュール	実習の流れ			
			学内実習	学外実習		
1年	5月	研究計画書の提出				
	6月		実習オリエンテーション			
	9月	小論文①の提出 * 研究テーマ(仮)の設定 問題意識を明確にし、関連した先行研究を整理する。				
		指導教員の決定、指導の開始				
	10月	中間報告会(発表・質疑応答) * 研究の進捗状況の発表				1年次後期から一定期間(見学実習を含む)の学外実習を実施
	2月	小論文②の提出 * 研究テーマ(仮)の設定 先行研究、および年間研究成果のまとめ				
3月	社会福祉学研究科 合同修士論文発表会への参加 * 修了生の修士論文発表会に参加					
2年	4月	修士学位請求論文執筆計画書の提出				
	6月	中間報告会(発表・質疑応答) * 研究と論文執筆の進捗状況の報告		2年次の5月～12月頃迄の間に2施設で、合計		
	9月	小論文③の提出 * 研究の進捗状況と成果のまとめ		20日間以上の学外実習を実施		
	12月	修士論文の第一次提出				
		修士論文報告会(発表・質疑応答) * 最終的な論文指導				
	1月	修士論文の最終提出				
	2月	審査委員会による口頭試問・最終試験				
	3月	課程修了判定結果の通知 社会福祉学研究科合同修士論文発表会での発表 学位記授与				

分野 (臨床心理士)		省令で 定める科目 (公認心理師)	科目名	単位	備考
臨床心理 基礎 必修科目	1. 臨床心理学の基礎理論と基礎技法 を学ぶ科目群	—	臨床心理学特論	4	
		⑦	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	2	
		—	臨床心理面接特論Ⅱ	2	
		⑥	臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	
		—	臨床心理査定演習Ⅱ	2	
		—	臨床心理基礎実習	2	
		⑩	臨床心理実習Ⅰ-① (心理実践実習)	2	
		⑩	臨床心理実習Ⅰ-② (心理実践実習)	2	
		⑩	臨床心理実習Ⅰ-③ (心理実践実習)	2	
		—	臨床心理実習Ⅱ	2	
臨床心理 選択必修 科目	2. 臨床心理学研究法と統計的手法 を学ぶ科目群(A群)	—	心理学研究法特論	2	
		—	心理統計法特論	2	
	3. 人格と発達を学ぶ科目群(B群)	③	人格心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	隔年開講
		③	発達心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	隔年開講
	4. 心理臨床と社会の関わり を学ぶ科目群(C群)	⑧	社会心理学特論(家族関係・集団・地域 社会における心理支援に関する理論と実践)	2	隔年開講
		④	犯罪心理及び被害者支援特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	隔年開講
	5. 心の病理と生涯発達 を学ぶ科目群(D群)	①	精神医学特論 (保険医療分野に関する理論と支援の展開)	2	
		②	老年心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	隔年開講
		②	障害者(児)心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	隔年開講
	6. 心理療法と地域的支援 を学ぶ科目群(E群)	—	投映法特論	2	
		—	心理療法特論Ⅰ	2	隔年開講
		—	心理療法特論Ⅱ	2	隔年開講
	社会福祉 関係選択 必修科目	7. 臨床心理学の近接領域としての 社会福祉学を学ぶ科目群	—	ソーシャルワーク論	2
—			精神保健福祉論	2	隔年開講
—			福祉サービスマネジメント概論	2	
公認心理師 選択必修 科目	—	③	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	隔年開講
	—	⑤	産業労働心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	
	—	⑨	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	2	
研究指導 科目	8. 修士論文執筆を中心に臨床心理 の研究指導を行う科目	—	心理臨床研究演習Ⅰ	2	
		—	心理臨床研究演習Ⅱ	4	

(2018年度開講科目)